

korekara

2012
AUTUMN
Vol. 14

しなやかに、
変わる



浦和が変わる!!

周辺

浦和駅の
高架化で

東西交通 自由自在!!



浦和駅周辺では現在、鉄道を高架化する工事が行われています。鉄道により分断されていた東西の市街地を一体化し、駅周辺に新しいにぎわいを生み出すまちづくり。今号では、その全貌をいち早くご紹介します。



東口

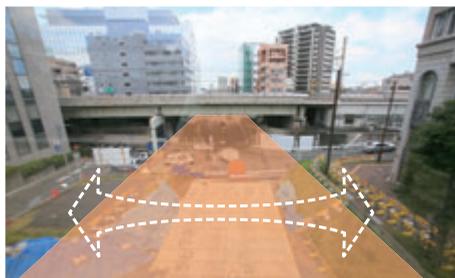
道路



道路

田島大牧線を拡幅

鉄道と交差している田島大牧線(日の出通り)を幅員25mに拡幅し、4車線の道路として整備します。高架から西側にある中山道までの道路は現在一方通行ですが、平成25年春には2車線での通行ができるようになります。道路の拡幅により、車の渋滞緩和だけでなく、歩行者にも安全で快適な道路環境を目指します。



▲道路の幅を広げるとともに、両側に4メートルの歩道を設置。車と人の流れがスムーズになります。

電線類を地中化

電線類を道路の下に納めます。電柱や電線類がなくなることで、道路の見通しが良くなり、交通の安全性が向上し、美しい景観のまち並みが形成されます。



▲県庁通りの整備後イメージ図。新たに自転車レーンが設置されることで、歩道がゆったりと広くなります。

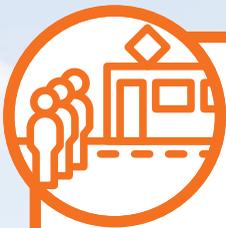
県庁通りの環境を整備

浦和駅西口から国道17号に至る県庁通りを整備します。歩道をバリアフリー化し、自転車レーンを設置します。

浦和駅東西の交通がつながり 新しいまちに生まれ変わる

現在浦和駅周辺で行われている事業は、鉄道により分断されている東西の市街地を一体化し、新しい交通の流れを作り出すものです。この事業には、3つの柱があります。

第1は、田島大牧線を安全で快適な道路環境に改善すること。第2は、浦和駅周辺の鉄道を高架化して、東西連絡通路を整備し、湘南新宿ライ



駅

✓ 鉄道を高架化

平成25年春には鉄道を高架化し、駅構内に幅員25mの東西連絡通路を整備します。さらにその後、東西の交差道路を新たに3か所整備し、全5か所で行き来できるようにします。こうして、鉄道で分断されていた浦和駅東西市街地の一体化が実現。安全で快適な環境に生まれ変わります。

✓ 湘南新宿ラインが浦和駅に停車

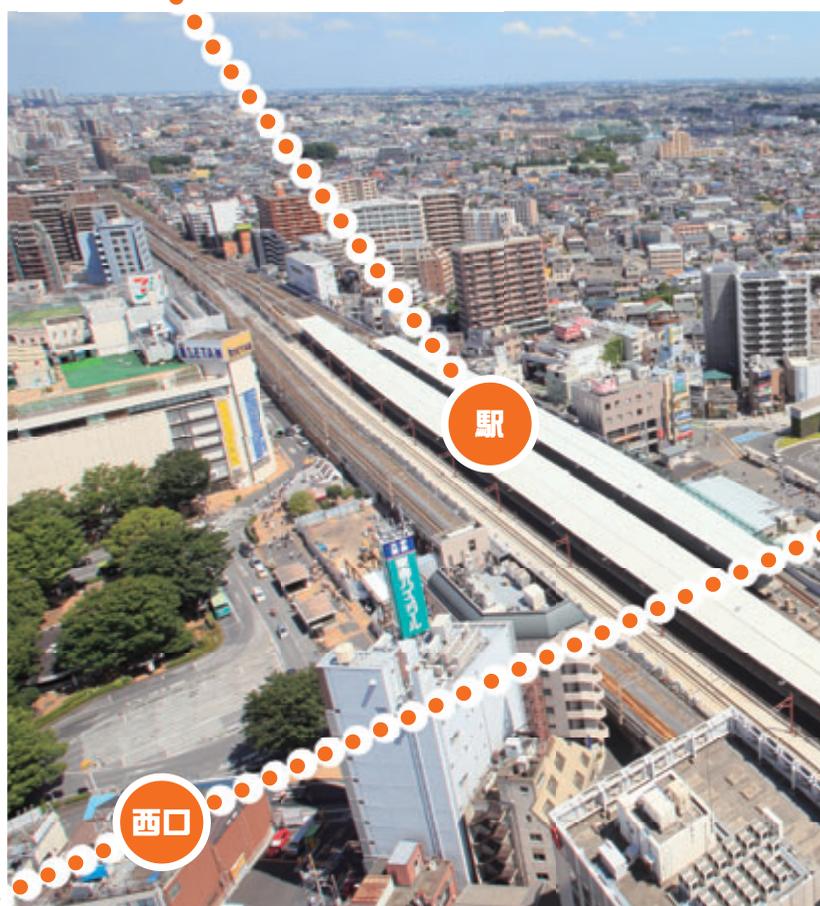
京浜東北線、宇都宮・高崎線に加えて新たなホームを建設し、湘南新宿ラインが浦和駅に停車します。これにより、浦和駅と池袋、新宿方面、さらに横浜方面との行き来が便利になります。

✓ バリアフリー化

東西連絡通路、各旅客ホームにエスカレーターとエレベータを設置し、バリアフリー化を図ります。これにより、ベビーカーや車いすでも、楽々移動することができます。



▲浦和駅の完成イメージ。左側が西口、右側が東口です。鉄道の下を東西に連絡する通路が完成することで、駅周辺に新しい人の流れと活気生まれます。



駅周辺

✓ 東口駅前広場を整備

東口駅前広場の、残されていた約2000㎡を整備します。現在の1.5倍にあたる約6000㎡の広々としたスペースになります。

✓ 浦和駅西口南高砂地区を再開発

西口の駅前広場では、新たに4300㎡のスペースを拡張。平成30年に完成する予定です。また、地上27階地下2階の再開発ビルも建設されます。再開発ビルは、4階までの低層部に商業と業務の施設、5階以上を総戸数約530戸の共同住宅を計画しています。



▲再開発ビルの完成予想図。浦和駅西口広場に隣接する、新たな都市空間が誕生します。

ンが浦和駅に停車すること。そして第3は、駅周辺を整備し再開発することです。これらの事業は、長年にわたり多くの地元関係者の方々の理解と協力が一つの目標に向かって初めて実現できる、大事業です。新しい交通の流れで、まちの力がアップする浦和駅周辺にご期待ください。次ページでは、都市交通の専門家と実際に駅周辺を歩き、変わりゆくまちの姿について考えました。

まちを 歩いて 検証!

浦和駅周辺。完成後、車や人、自転車はどのような流れになり、どのような空間が生まれるのか、実際にまちを歩き、交通の観点からお話をうかがいました。



ことで

鉄道が高架化することで
西口と東口がつながり
一つの空間になる

駅前広場が完成することで
もっとやさしい
空間が生まれる



人の流れが生まれ 快適な歩行空間ができる

バリアになっていた鉄道が高架化されると、人の流れが生まれます。西口と東口が地上でつながるのは、歩行者だけでなく自転車にもやさしい構造。安全で快適な歩行空間ができることで、行動範囲も広がります。

私たちの研究でも、駅からの空間が明るく楽しいと、歩く距離も比例して伸びるという統計が出ています。

東口で映画を観て西口で遊んで、と行き来がしやすくまちの滞在時間が長くなると思います。バスの乗り継ぎも簡単です。



東と西がつながることでそれぞれの個性が合わさり、浦和という一つの魅力あるエリアと感じられるようになると思います。

開放的な広場を 笑顔あふれる空間に

新しい駅前に広場が完成することで、歩く人によりやさしい空間が生まれます。

私たちの研究でも、車の多い道路に比べて車の少ない道路を歩いている人は、笑顔が多いという傾向が出ています。浦和駅周辺も、笑顔があふれるまちになるとよいですね。



駅前広場はただ通るだけでなく、ベンチを置いて憩いの場となるような空間になればよいと思います。ベンチがあると、違法駐輪も減るという調査結果もあります。

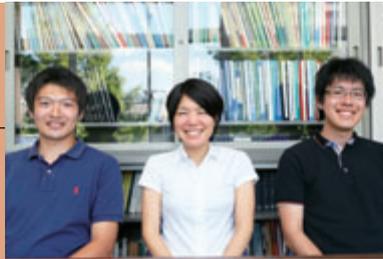
都市空間の中に広々とした開放感を求めるというのは、自分はずごくいいなと思います。また、人が多く集まる場所だけに、緊急避難所としても活用できますね。



いっしょに歩いたのは…

埼玉大学大学院 理工学研究科

助教 小嶋文先生(中央)
修士2年 府中晋之介さん(左)
修士1年 大柳和紀さん(右)



都市交通の研究者。研究内容は幅広く、氷川参道で一方通行施工後の成果を検証したり、交通問題のアンケートで無回答だった人がどのように考えているのかなど、身近で興味深いテーマに取り組んでいます。

変わりゆくま 実際に歩

東西の交通が一つにつながり、生まれ変わる浦和。まちになるのでしょうか。都市交通の研究をしてい

3つの機能が整い 浦和駅周辺の魅力が向上

人と車が共存する都心道路には、3つの機能が重要です。田島大牧線の完成で、車両が走る「トラフィック機能」、沿道の建物へ出入りし自由に回遊できる「アクセス機能」、駅前広場で快適に過ごせる「空間機能」の3つの機能が整います。

駅周辺の道路は、田島大牧線に車両が分散することによりいろいろな使い方ができるようになり、浦和のまちの魅力も向上します。



道路が広くなれば渋滞も解消され、人が安心して歩けるので、回遊しやすくなると思います。

車両と歩行者の道路が分離されてロータリーの空間が広がると駅を降りた人に「このまちいいな」と思ってもらえるのでは。

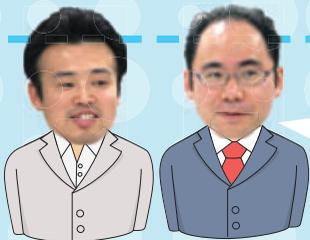


korekara では、さいたま市が目指す都市づくりの方針をわかりやすくご紹介します！

浦和駅周辺のまちづくりは、魅力的な商業業務機能の強化を目指すという、さいたま市の都市計画に基づいて進められている事業です。今年度のkorekaraでは、さいたま市が目指す都市づくりの方針について、具体例を出しながらわかりやすくご紹介します。

人口減少、少子高齢化、環境問題などに対応するための「持続可能なまちづくりに向けた今後のさいたま市の都市計画のあり方」をまとめた都市計画の詳細は、さいたま市ホームページ(トップページ→事業者向け→まちづくり・交通・建設→都市計画→都市計画マスタープラン)にあります。皆さんもいっしょに、これからのまちづくりについて考えてみませんか。

問合せ 都市計画課 ☎829-1403



私たちが
分析しています

一般財団法人 計量計画研究所
交通まちづくり研究室
研究員 主任研究員
福本大輔さん 石神孝裕さん

計量計画研究所は、交通や都市に関する調査研究を行っている組織です。全国各地のパーソントリップ調査のお手伝いをしています。

PT パーソントリップ 調査 を

知っていますか？

皆さんは、「パーソントリップ調査」を知っていますか？
パーソントリップは、人の動きだけでなくさまざまなことがわかる、まちづくりに欠かせない調査のひとつです。
今回の結果で見えてきた、さいたま市の特徴とは…？

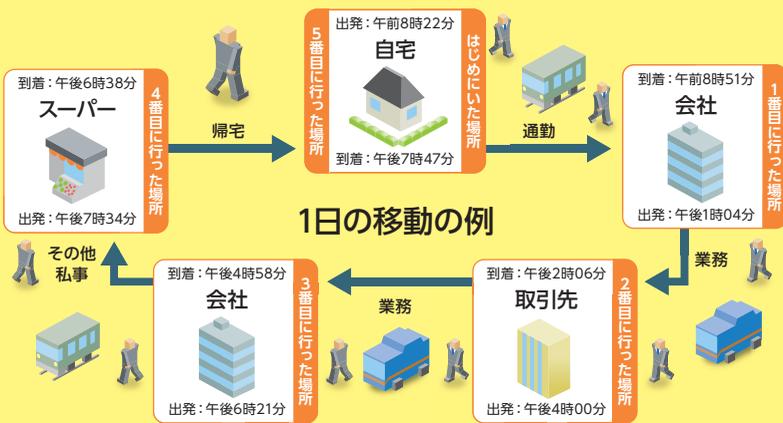
パーソントリップ

PT調査とは

パーソントリップ調査とは、「人の動き」に着目して都市の活動を明らかにするための調査です。1日の移動をアンケートで尋ね、「どのような人」「どのような目的・交通手段で」「どこからどこへ」移動したかなど、ある人の平日1日のすべての動きを調べています。

東京PT調査は、東京都市圏交通計画協議会が昭和43年以降10年ごとに実施し、平成20年には第5回目を行いました。調査の範囲は、東京都市圏の1都4県。対象者は、満5歳以上の都市圏居住者約1600万世帯のうち無作為に選ばれた約140万世帯の方から移動情報を得ている、大規模なものです。

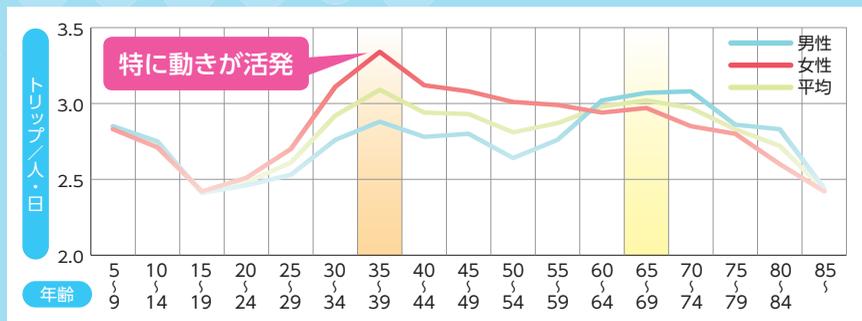
このデータをもとに、都市圏の望ましい交通体系のあり方を検討しています。



さいたま市を人の移動から見ると…

女性の移動が活発!

年齢階層別の1人1日あたり平均トリップ数(外出した人のみ対象)



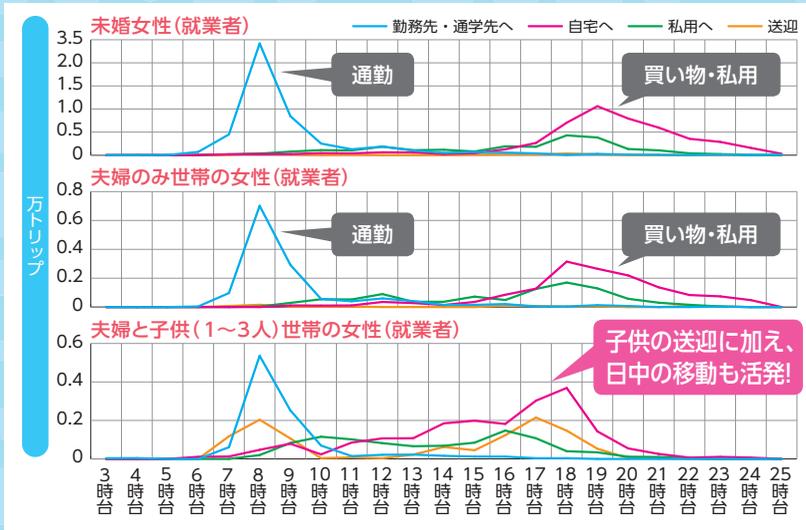
資料:平成20年東京都市圏パーソントリップ調査

年齢別の移動では、35〜39歳と65歳〜69歳の移動回数が多いことがわかります。そして、男女別に分けて見ると、35〜39歳の女性は、1人1日あたりの移動回数が多くなっています。ここは主に、子育て中の女性が該当します。



子どもがいる女性は特に活動が活発!

さいたま市に居住している就業女性(20~39歳)を対象とした目的地への到着時刻別、移動の目的別の集中トリップ数



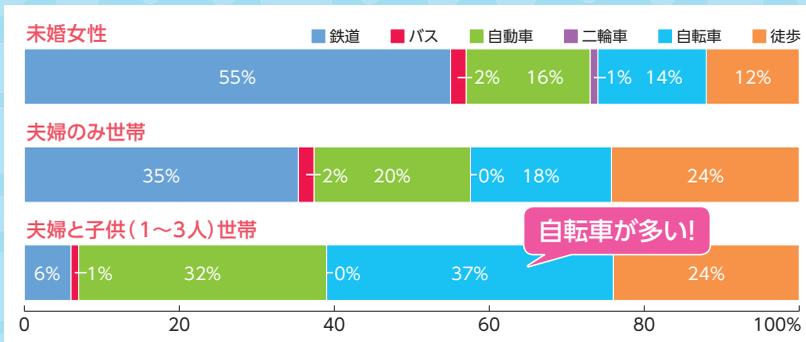
資料:若者の交通実態に関する自主研究(一般財団法人計量計画研究所)

働く女性の移動を未婚女性、夫婦のみ世帯の女性、夫婦と子供世帯の女性に分けて見ると、子どもがいる女性は、いつもの日常的な移動に加えて保育園や幼稚園への送り迎えを行っているため、移動回数が多くなる傾向があります。帰宅時間は、子どもがいない女性の方が早いです。人口が減少傾向に移りつつある中、女性が子育てしやすいまちづくりが必要です。



子どもがいる世帯は、自転車利用が多い!

さいたま市に居住している女性(20~39歳)を対象とした代表交通手段分担率



資料:若者の交通実態に関する自主研究(一般財団法人計量計画研究所)

未婚女性と夫婦のみの女性は、通勤や通学で鉄道の利用が多く、子どもがいる女性は、自転車と自動車が多くなっています。子どもがいる女性の場合、東京都市圏全域では自動車利用の方が多く、さいたま市は、子育てで自転車を使っている人がかなり多いことがわかります。



人の移動から浮かび上がる、さいたま市。若い女性、特に子供がいる女性の活動が活発で、自転車利用が多いことは、驚きでもあり、納得でもあります。さいたま市では、この調査を活用して、道路や施設の整備など、実情に対応した都市交通の戦略を策定しています。また、パーソントリップ調査は、交通計画だけでなく、インフルエンザの感染拡大の予測、帰宅困難者や津波避難の対策などにも応用されています。



問合せ

都市交通課

0829-11053

東京都市圏交通計画協議会
<http://www.tokyo-pt.jp/>



▲カーブが多い市道L-717号線。道路の交通上の安全のために、メタセコイアは地上から約2.5mの下枝が剪定されます。

35mと大きいので、街路樹として植えられることがめずらしい木でもあります。

このメタセコイアの並木道がある市道L-717号線は、見沼田圃の真ん中、見沼代用水西縁から県道105号線にぶつかるまでの1.6kmの道路です。道路の両側に植える街路樹として、周囲が田圃であることを配慮して、虫がつかず、樹木で田圃の作物に影にならないようにと選ばれたのが、このメタセコイアでした。

ひろびろとした見沼田圃に、のびのび元気に空高く茂るメタセコイア。この道を通ると、なんだか心も広々とする気がしますね。

こころ・うるおう
みどりのみち

たんぼ
見沼田圃の真ん中で、
天高くのびのび茂るメタセコイア

市道L-717号線(緑区)

雄大に広がる見沼田圃の中に、遠くから見てもはっきりとわかる、高くとがったダイナミックな円錐形のシルエット。「ここは、さいたま市?」と一瞬見まがうような雄大な姿の主は…「メタセコイア」の街路樹です。

メタセコイアはスギ科の一種で、日本では数少ない落葉性の針葉樹です。新緑の季節には濃い緑、そしてこれからの10月後半～11月の秋には美しい紅葉となります。まっすぐな幹と、整然と斜め上に伸びる左右の枝の樹形も美しいとされています。高さも25m～



▲秋にはこんなに赤く色づくメタセコイア。実りの季節を終え黄色くなった見沼田圃の色彩と相まって美しく映えます。



「korekara」編集後記

回数を重ねるごとにやはり頭を悩ませるのは「ネタ出し」。今年度は過去の企画内容を分野別に整理し、あまり取り扱っていなかった分野(=市民のみなさんにはなかなかとつきにくい分野!?)を積極的にお伝えしていこうという方針でスタートしました。

それにしても今年の夏は猛暑でしたね。今号の取材も8月の夏真っ盛りの時期に行ったんですが、もう汗だく。ご協力いただいた皆さんには心から感謝いたします。そんな汗と努力の詰まった1冊、まちづくりを考える「きっかけ」になることを願います。

ホームページへアクセスを!

「『korekara』WEBサイト」では、誌面の紹介のほか、編集のこぼれ話やまちづくりに関する話題などを随時更新中。ぜひご覧ください!
また「korekara」は、皆さんの声を反映させた誌面づくりを目指しています。ご意見やご感想、ご要望などもぜひお寄せください。

■あて先:〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 都市総務課あて
TEL:829-1394 FAX:829-1979
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp

さいたま市 korekara

検索